

私たちは「虐待ゼロへ いのちにハグを。とちぎ」を応援します



藤井産業



とちぎの未来へ、あなたとともに。
栃木トヨタ



FOOD OASIS OTANI



しんほうけんせつ
晋豊建設 株式会社



KSK環境整備



宮島醤油株式會社



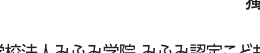
Meiko Kids
明光キッズ e



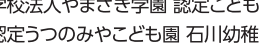
co-op
「ともに」の力で、笑顔の明日を



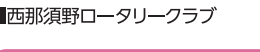
一般社団法人
栃木県医師会



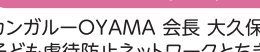
あずま保育園



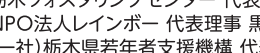
いかり保育園



あさひの保育園



ひので保育園



獨協医科大学病院

学校法人みふみ学院 みふみ認定こども園／学校法人むつみ学園 認定こども園 むつみこども園／
学校法人やまぎき学園 認定こども園 釜井台幼稚園／
認定うつのみやこども園 石川幼稚園・東うつのみや保育園／認定こども園 栃木幼稚園／
認定こども園 西那須野幼稚園／認定こども園 若葉幼稚園／やしお幼稚園
■西那須野ロータリークラブ 〈順不同〉

いのちにハグを。サポーター

カンガルーOYAMA 会長 大久保幸子、立正大学 教授 大竹智、
子ども虐待防止ネットワークとちぎ 代表 福田雅章、
栃木フォスタリングセンター 代表理事 畠山憲夫、歌う海賊団ッ!、
NPO法人レインボー 代表理事 黒子悦子、
(一社)栃木県若年者支援機構 代表理事 中野謙作、
とちぎ男女共同さんかくねつ 理事長 大澤里香 〈順不同・敬称略〉



栃木保健医療生活協同組合
「生協ふたば診療所」

1998年に開所。経済的・社会的地位に関わらず、すべての人が必要とする医療を受けられるよう無料定額診療を行っている。みんなの居場所「つながるカフェ★カムカム」は月2回開催。

新たな二面を知る
子どもの居場所

生協ふたば診療所の特徴の一つが、子どもの居場所つながるカフェ★カムカムを運営していることです。ここには、診察時に来訪を勧められた子どもや保護者、近隣の高齢者も立ち寄り交流しながら夕食を共にします。運営に携わる看護師の荒川紗也加さんは「カムカムでは看護師が私服で参加する事で参加者がより身近に感じ、深い話も気軽に伝えてくれる気がします」と手応えを感じています。

また、カムカムでは子どもたちがお手伝いをする、高齢者は喜び感謝の言葉を伝えています。子どもたちは「自分に関心を持ち、認めてくれる大人がいる」と実感できます。カムカムにいる間は緊張感なく笑顔で過ごすことができるため、自己肯定感を育む場にもなっています。さらに、ボランティアの温かさに触れることで

誹訪陽子看護師長は、「子どもが安全安心に生活できる家庭環境のために、保護者の経済的な問題や精神的な安定への対応を大切にしています」とした上で、「子どものことを大切にしているからこそ、診療所に連れて来てくれるのだと思います」と話します。

孤立しがちな人々にどう手を差し伸べるか、生活改善のため、どのような公的制度や社会資源へつなげるか、そして子どもたちが安心して成長できる環境をどうつくるのか、診療所は組織全体で考え続けています。

〴〵気になる〴〵子ども
複数の視点で見守り

栃木保健医療生活協同組合が設立・運営する「生協ふたば診療所」(宇都宮市双葉1丁目)は、県内で数少ない無料・低額診療を行う医療機関です。患者の中には、失業や低所得といった経済的な理由で医療機関にかかれぬ人もおり、困難を抱えた人たちの〴〵(皆)といで〴〵にもなっています。

困窮する家庭の子どもは、ネグレクト(育児放棄)のリスクが高いと言われており、発生

予防、早期発見、早期対応が重要です。看護師の箕輪佳美さんは「服装の違和感や診察中の親子の様子などを意識して見ています」と話します。

こうした、気になる〴〵子どもとその保護者については、カンファレンスで医師や他の看護師と情報を共有し、複数の視点で見守ります。状態が変わらない、あるいは悪化している場合には、生活環境や困り事を確認して状況を把握。必要に応じて診療所内の社会福祉士と連携し、福祉制度へつなげています。

安全で安心して
生活できる場を

家庭以外の大人の姿を知り、視野が広がる効果も期待されます。

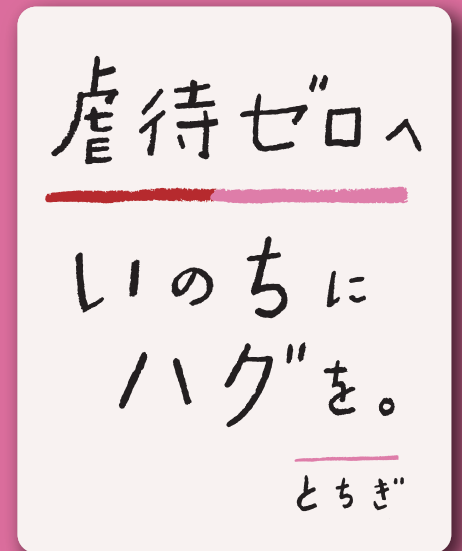


さまざまな年代の人たちでにぎわう「カムカム」

医療現場から親子を支える

子どもへの虐待のない社会を目指して

下野新聞
子ども虐待防止啓発キャンペーン



section 33 企画・制作 下野新聞社ビジネス局
企画 監修 栃木県 栃木県警察本部

増加する児童虐待。その早期発見・早期対応には、地域の関係機関全体での支援体制構築が必要です。とりわけ虐待を疑わせる子どもとの接点になる医療機関は、早期発見・早期対応において重要な役割を担っています。